平成 21 年 6 月 4 日

各　　位

会　社　名　　株式会社モリテックス
代 表 者 名　　代表取締役社長　仁科　秀逸
（コード番号：７７１４　東証第一部）
問い合わせ先　広報企画統括部長　　植田隆彦
電　話　番　号　０３－　３４０１－　０９８４

ショット・アーゲー（SCHOTT AG）との業務提携の進捗に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 9 月 24 日付「ショット・アーゲーと株式会社モリテックスとの資本業務提携に関するお知らせ」で発表の通り、ドイツのショット・アーゲー（SCHOTT AG、以下「ショット」という。）との提携関係を進めており、その経過を平成 20 年 12 月 3 日付「「モリテックスと独ショット、７つのワーキングチームが発足し、『Nozomi プロジェクト』が始動」に関するお知らせ」でお知らせしてまいりました。

この度、ショットと共同で進めている Nozomi プロジェクトに関し、プロジェクトの方策と達成目標が纏まりましたのでお知らせいたします。

記

1.プロジェクトの目標

NOZOMI プロジェクトではシナジー効果による競争優位の強化を目的としており、この目的に沿ってプロジェクトの目標を協議してまいりました。この結果、プロジェクトの目標として、2010 年 10 月から 2011 年 9 月までの 1 年間に、シナジー効果としてモリテックスの売上高 18 億円、営業利益 2.7 億円を達成することを設定いたしました。

2.各ワーキングチームの主な方策について

●海外販売

ショットの営業網を活用したMVS製品の欧米販売。 ショット製品のアジア販売。海外拠点の統合。

●国内販売

ショット製品の国内販売。メディカル、自動車関連市場への営業活動注力。ショット日本株式会社とのコラボレート。

●購買

ショット製品の購入。相互の製品の集中購買実施。納入業者の絞込み。海外調達の推進。

●製造

製造の統合。多成分ファイバはショットから購入。深セン工場を活用したコストの削減。

●技術・研究開発

現在、10 件以上の共同開発を実施中。昨年末には LED ライトバー「SpectraTrue」を商品化。

●経理・財務管理

監査法人変更による会計方針の共通化。システム導入の検討。

●その他（物流、人事・総務など）

各プロジェクトのコスト管理。

3. 今後の見通し

Nozomi プロジェクトによるシナジー効果は平成 23 年 3 月期より現出することを見込んでおります。平成 21 年 5 月 15 日に発表いたしました平成 22 年 3 月期の業績見通しにつきましては、現段階での変更は行いませんが、開示すべき事項が判明した場合には、適時開示いたします。

以上